

平成30年度の教育活動に対する学校評価

平成31年3月26日

学校法人光耀学園 裾野ひかり幼稚園 園長 上藤佐知子
学校法人光耀学園 学校関係者評価委員 会長 山本一王

1 幼稚園の教育目標

からだの丈夫な元気なこども・美しいもの、美しい心を感じるこども
仏さまを拝み、生き物を慈しむこども・感謝の気持ちを持てるこども

2 本年度の重点目標

- ・こども同士のともだち関係を上手に創る
- ・グループ集団の中でいきいきと活動する
- ・自然や生命をより身近に感じ取る保育

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
保育	保育の計画性	B	改善点を模索し、新鮮な活動を取り入れ、保育の充実を図り実践したい。	B	時代のニーズを捉え、子供たちの成長をより充実させることに期待。
保育	保育のあり方	A	子供たち個々の性質を大切にし、先入観のない保育を心掛けていきたい。	A	個々を見つめた保育に努めこれからも子供たち第一の保育を望む。
保育者	教師としての資質・能力・適正等	A	保育者の技能向上に励み互いに切磋琢磨する環境づくりを心掛けたい。	A	保育者としての資質向上を止めることなくこれからも努力を願う。
保育者との関わり	保護者への対応	A	保護者とのより良い関係構築に努め信頼を共有できる環境を心掛けたい。	A	保護者への対応は繊細に行い、信頼しあえる関係づくり努めてほしい。
地域	地域の自然や地域との関わり	B	地域交流の場に積極性を持って参加し、園の活動が幅広く行えるよう努める。	B	地域交流をもって子供たちの視野を広げ、関わりあえる環境に期待。
研修	研修と研究	B	反省と進歩を繰り返しより一層の資質向上に努めたい。	B	研修・研鑽を重ね、これからは保育者としての技能向上に期待。

※評価結果の表示方法

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
保護者への対応	<ul style="list-style-type: none">・意見交換をしやすい会話、環境作り・家庭訪問など
地域との関わり	<ul style="list-style-type: none">・地域開催のイベントへの参加・情報交換